

**製品名: DISC1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84244**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 94 kDa ; Observed MW: 100 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DISC1
別名	C1orf136; DISC1; KIAA0457; RP4-730B13.1; SCZD9;;DISC1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9NRI5
免疫原	ヒト DISC1 由来の合成ペプチド

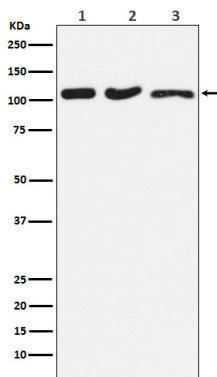
**背景**

胚および成体の神経新生のさまざまな側面の調節に関与します。胚の脳の発達中の脳室/脳室下領域および成体の海馬歯状回における神経前駆細胞の増殖に必要です。GSK3B の活性と CTNNB1 の豊富さを調整することにより、Wnt 媒介神経前駆細胞の増殖に正の調節因子として関与します。

## 研究分野

-

## 画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) RAW264.7 細胞溶解物、(3) PC-12 細胞溶解物における DISC1 発現のウエスタンブロット解析。